



三重電気会報

平成12年1月発行 第83号

新年あけまして
おめでとうございます

本年もよろしく
お願い申し上げます



「二見夫婦岩の日の出」

年頭所感



三重県電気工事業工業組合

理事長 青山登志男

新年明けましておめでとうございます。

会員皆様には、ご家族お揃いで新年をお迎える事とお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、政府の積極的な景気対策により年半ばには政府の目指している年〇・五%成長を超える高い伸びを達成したと報道されていましたが、秋口にかけてや、陰りが見え、景気の現状については、「下げ止まっていくとする」判断が大勢を占めているが、景気の腰折れを防ぐべく臨時国会で中小企業対策国会と位置づけ、二次補正予算で懸命に取り組んでおるところであります。

私達電気工事業界はと申しますと、依然として厳しい経営環境におかれ苦しい経営が続いております。

昨年の春先から住宅着工件数の増加や、公共工事に支えられ一昨年よりは少し良くなってきているようではありますが、まだまだ厳しい状況は続きそうです。

このような中、我が三重県電工組と致しましては、二一世紀の技術集団としてまた、組合の一層の発展のために努力を傾注しなければならぬと考えております。

今後の電気工事業もここ数年の内には、大きく様相が一変するのは確実であることから従来型の電材を

使用する工事は半減し、通信設備の需要は増大、電気通信が一体となった設備、高齢化社会や環境問題に配慮したバリアフリー工事、リニューアル工事等、このような分野の新しい形の需要が急速に拡大し、我々業界も通信の知識がないと工事が出来なくなりました。

昨年度は、念願でありました新会館建設のための土地を皆様のご協力により取得する事が出来ました。

今後は出きるだけ早期に新会館を建設し、高度情報化社会のニーズに対応出来るよう新技術の取得講習会や各種研修会場として活用し、組合員皆様の為に役立てたいと思っております。

県電工組は従来からの電気工事に加え新技術の取得のため、技術委員会の提案による一昨年の先行情報配線工事研修に続きデジタル三種の受験準備講習会を開催し多くの方々が受講されました。

経済委員会におきまして

も、ホームページを開設し、組合員皆様にとって有益な情報を一刻も早く届けられるよう努力しております。出来ただけ多くの方々がアクセスされ、情報を収集し活用して戴きますよう希望しております。

また、三重電業協会と分離発注促進運動を強力に推進して参りたいと考えております。

新たな課題として、ここ二、三年の不況のためか組合を脱会する会員が後を絶ちません。平成九年四月には九二五名であったものが最近では九〇六名に減少しております。

これは会員の高齢化と後継者問題に新たな対応が求められているものと考えます。このため、昨年度、各支部長を通じて広報委員会の作成した「パンフレット」を広く会員外の電気工事業者に郵送し、新会員獲得の運動を実施して参りました。

しかし、成果はかんばし

くなくなお一層の努力を継続する必要があります。

一方、増え続ける電気エネルギーの需要に応ずるため、今や原子力発電を考えたわけには参りません。話は変わりますが、私達も電気工事に携わる者として、「三重二一世紀のエネルギーを考える会」に加入し、原子力発電に対する必要性をPRに努めている矢先に、昨年十月東海村の臨界事故が発生し、芦浜原発問題をかかえる三重県にとっては非常に残念な事故であります。

この事故は、新聞TVの報道によりまずと、作業手順書を別に作成し、能率優先で作業をしていたためか、正しい手順どおりに作業を実施していれば決して起こり得ない事故であるとされていますが、振り返って私達の電気工事におきましても、このような能率優先で作業をしていないだろうか、墜落事故、誤結線事

(3面へつづく)

(2面よりつづく)

故を始め第三者損害賠償事故は毎年数件が発生しております。

事故による損失は能率優先による利益よりも遥かに大きいものになります。

今年こそ、信頼される技術集団としての組合を発展させる為にも、私達は事故防止の為、安全推進運動標語の「慣れた作業も基本を

守ってゼロ災害」に徹して

戴きたいと思えます。

今年は「辰年」で御座います。辰にあやかり昇龍の

如く天にかけ昇る龍のように

不況を吹き飛ばし、素晴らしい事故のない一年を送

りたいと思えます。

終りに当たり、会員皆様

のご繁栄とご健勝を祈念致

しまして、新年のご挨拶と

致します。

新年のご挨拶



中部電力株式会社
取締役三重支店長

木下 昭一

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆さまには、西暦二〇〇〇年ミレニアムの輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、弊社の事業運営に格別のご理解とご協力

を賜り厚くお礼申しあげます。

とりわけ、平素より皆さ

まのお世話になっておりま

す深夜電気温水器やエコア

イスなどの負荷平準化商品

の普及拡大につきましては、

お蔭を持ちまして順調に推

移しております。この負荷

平準化の推進は設備の効率利用の面から、弊社の重要な経営課題のひとつであり、本年も引き続きお力添えい

たきますようお願い申し

あげます。

また、昨年は茨城県東海

村のJCOにおいて我が国

で例のない臨界事故が発生

し、同じ原子力に携わる者

として誠に残念であり、極

めて重大なことに受け止め

ております。会員の皆さま

にも、大変なご心配をおか

けいたしました。このよう

なあってはならない事故を

二度と起こさないために、

原子力防災新法の制定、原

子力産業界全体で安全文化

を共有するネットワーク横

断組織の設立など官民をあ

げて再発防止に取り組んで

おります。

この事故をきっかけに「原

子力は危険」、「原子力は不

要」などの声が大きくなっ

てきておりますが、資源の

無い我が国にとって、原子

力発電はなくてはならない

球温暖化防止の面からも原子力発電の必要性はいささかも変わりはありません。

折りしも、今年は芦浜原

子力立地問題に関する冷却

期間も明けましたので、芦

浜原子力発電所実現に向け

て、県民の皆さまに原子力

発電の安全性・必要性につ

いてご理解をいただくよ

う、更に努力してまいりま

すので、引き続きご支援賜

りますようお願い申しあげ

ます。

さて、昨年の国内経済情

勢は後半になり、在庫調整

が進み電力需要など一部の

生産指数でやや上向きの指

標が出ておりますが、依然、

民間設備投資は低迷し、ま

た高水準な完全失業率、給

与所得の減少など個人消費

の面でも不安材料は多く、

景気回復への歩みは、いま

だ力強さに欠ける状況にあ

ります。政府には、昨年十

一月に発表された十八兆円

の経済新生対策など、短期

ならびに中・長期それぞれ

に明確なビジョンのもと、

強力かつ機動的な経済対策を確実に実施いただき、今年こそは本格的な景気回復の年となるよう期待したいものです。

電気事業におきましては、今年も電力小売自由化元年

となります。すでにご案内

のとおり、特別高圧受電の

お客さまが、自由に電力の

供給者を選ぶことができる

ようになります。弊社とい

たしましては、お客さまの

ロードカーブに即した多様

なメニューやお客さまに喜

んでいただけるような付加

価値サービスなどを用意し、

引き続きお客さまから弊社

を選んでいただけるよう企

業努力を続けてまいります

ので、今後とも倍旧のご支

援とご鞭撻をお願い申しあ

げます。

最後に、二一世紀に向け、

貴会ならびに会員の皆さま

とご家族さまの一層のご発

展とご多幸、そして安全を

祈念いたしまして、新年の

ご挨拶とさせていただきます。

臨時総代会を開催

土地購入の件を審議

八月二十七日、臨時総代会を津電気会館に於いて開催しました。

総代九十六名中、八十九名(委任出席三十一名)が出席し、午後一時三十分、

津支部、繁田理事の司会により開会、議長に飯田理事を選出、議案審議に入った。

第一号議案「土地購入の件承認について」を審議、



倉田副理事長からこれまでの経緯を報告、質疑応答の後、賛成五十六名、反対二名(出席総代)となり、賛成多数により可決承認され、第二号議案以降、逐次提案審議し、全て満場一致可決承認された。

午後二時三十分、議案審議を全て終了した。



隣接する新規購入の土地



関係団体の表彰

つぎの方々が各関係団体から、晴れの表彰を受けられました。おめでとうございます。

平成十一年八月二十六日

中部通商産業局長表彰

岡野 秀隆

村脇 謙

川瀬 宗雄

(電気保安功労者)

平成十一年八月二十六日

電気安全中部委員会委員長表彰

伊勢支部 西井 秋夫

(電気保安功労者)

平成十一年十月六日

三重県中小企業団体中央会長表彰

伊藤 満三

(組合功労者)

津支部 杉田 勝博

松阪支部 増野 兼美

鳥羽支部 勢力 玉美

(組合優良職員)

平成十一年十月十二日

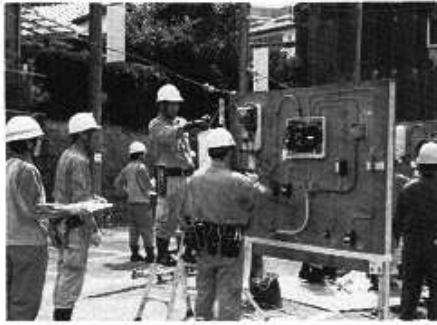
消防設備保守関係功労者表彰

補 修次 (消防庁長官)

平成十一年十一月二十九日

三重県知事表彰

補 修次 (優秀技能者)



小野大会運営副委員長の
司会により植田大会副会長
の開会のことば、次いで前
回優勝の伊勢支部チームか
ら優勝旗返還、青山大会会
長の挨拶、来賓代表木下中
部電力(株)取締役三重支
店長の挨拶の後、名張支部
の本田選手による選手宣誓
を行い、次いで岡野大会運

第25回技能オリリンピック

三重県大会開催

平成十一年九月八日、残
暑厳しき中、役員、選手、
関係者一四〇余名が参加し
三重県大会を盛大に開催し
ました。

菅委員長の競技概要および
佐藤審査副委員長の実技課
題説明の後、十時十五分実
技開始となった。

支部選抜五チーム(津チ
ーム・久居チーム・名張チ
ーム・尾鷲チーム・桑名チ
ーム)は、この日のために鍛
えた技をいかんなく発揮し
実技課題に取組んだ。そし
て、実技終了したチームか

第25回技能オリリンピック

中部大会に出場

平成十一年十月二十日、
秋晴れのもと連合会各県十
二チームが技術、技能を競
い合いました。三重県チ
ームは、実技賞、一位桑名チ
ーム・二位津チームと技術
技能においてナンバーワン
の評価であった。また、津
チームが安全賞第三位に入
賞した。

総合では、桑名チーム・

ら順次接遇面談を行った。
昼食の後、学科課題を実施
し、十四時に終了した。

安全ビデオの上映、配線

解体を行った後、表彰式と
なり栄えある優勝は、桑名
チーム・準優勝は、津チ
ームそして努力賞は、久居
チーム・名張チーム・尾鷲
チームとなりそれぞれ表彰
されました。

桑名チーム・津チ
ームは、更に十月二十日行われ
る中部大会に出場が決定し
た。

津チームともに第三位に入
賞しました。

選手みなさんの長期にわ
たる訓練と努力、そして関
係各位のご支援に敬意を表
します。(技術委員会)

- (総合入賞)
- 優勝 愛知県東部Aチーム
- 準優勝 長野県Aチーム
- 〃 長野県Bチーム
- 第三位 三重県Aチーム(桑名)
- 〃 三重県Bチーム(津)

中部電工連

第25回経営セミナー開催

九月二十八日、愛知県中
小企業センターに於いて、
「日本のエネルギーを考え
る」をテーマとした第二十
五回経営セミナーが、各県
役員始め総勢二百余名が
聴講するなか盛大に開催さ
れました。

中部通商産業局資源エネ
ルギー部長の挨拶の後、午
後一時三十分から科学ジャ
ーナリストの中村政雄氏に
よる「日本のエネルギー問
題を考える」と題し、地球
環境問題、世界の原子力情
勢の動向等をまじえ日本の

エネルギー問題全般につい
て講演された。次いで、日
本原子力発電(株)広報部次
長の小川順子氏による「お
父さんのための原子力講座」
と題し、日本の原子力発電
の現状、原子力発電のしく
み、原子燃料リサイクル等
について細部にわたり具体
的に講演された。

会員の皆様は、長時間熱
心に聴講し、日本のエネル
ギーについての知識を高め
た。午後四時三十分、青山
副会長の閉会のことばによ
り終了した。

- 第三位 岐阜県Aチーム
- (実技賞)
- 第一位 三重県Aチーム(桑名)
- 第二位 三重県Bチーム(津)
- 第三位 長野県Aチーム
- (安全賞)
- 第一位 長野県Aチーム
- 第二位 愛知県東部Aチーム
- 第三位 三重県Bチーム(津)
- (学科賞)
- 第一位 岐阜県Aチーム(高木)
- 第二位 名古屋Aチーム(伊藤)
- 第三位 愛知県東部Bチーム(宮島)
- 第四位 名古屋Aチーム(樋口)
- 第五位 長野県Bチーム(竹内)
- (敢闘賞)
- 名古屋Aチーム、名古屋Bチ
ーム、静岡県Aチーム、静岡県B
チーム、岐阜県Bチーム、愛知
県東部Bチーム

厚生委員会・研修報告



十月七日、青山理事長・植田顧問・三井厚生委員長始め三十四名(内事務局職員十四名)が福利厚生事業研修の一環として国民年金基金制度の勉強会を志摩郡大王町にある郵便貯金総合施設「メルバール伊勢志摩」に於いて実施しました。

講師は、全日本電気工業国民年金基金の津田常務にお願ひし、また全日本電気工業国民年金基金推進協議会加入促進部長でもある奈良県工組の小池理事長始め四名の方のご出席をい

ただき二時間余にわたり国民年金基金のノウハウについて勉強しました。

以下、いくつかの疑問等についてお答えをご紹介します。

一、公的年金制度は、本当に安全か

公的年金制度は、憲法で保障されている制度です。

「国民年金基金」は、電気工業界に就事する方々の将来の生活に寄与するために組合で厚生省の認可を受けて設立しています。

また、全国で九十八万人の方々が加入し、年金資産運用も安定しております。(国や組合でつくったものを信じましょう)

二、国民年金基金への加入は、高齢者でも可能か

電気工業界に就事する事業主および従業員、配偶者で年齢満二十歳以上六十歳未満までの国民年金第一号被保険者の方ならどなたで

も、いつでも加入できます。三、国民年金基金のメリットは(左表)

- ① 年金給付の利回り4.75%で、貯蓄性も高い。
- ② 保証期間は、15年保証と長期保証。
- ③ 掛金全額が「社会保険料」控除の対象となり実質掛金が安くなる。
- ④ 公的年金を収入源としている65歳以上の方は、328万円まで無税。また、遺族一時金を受給した場合は、全額が非課税。

現在、各支部厚生委員および事務局職員が中心となり加入促進を実施しています。事業主はもとより家族従業員の方の加入も是非お願いいたします。

技術委員会・研修報告

十一月九日、理事長・植田顧問・岡野技術委員長始め十六名が阿児町商工会館に於いて新技術研修を実施しました。

講師として、東芝ライテック(株)の松下技術長を招へいし、「省エネ法改正をはじめとした照明業界の動向とリニューアル需要」と題して、省エネ法の概要、光害ガイドライン、消防法の改正、リニューアルで省エネ等について勉強しました。

現在、省エネルギー設備工事など新しい形の需要が急速に拡大しつつあるなか、需要家の立場にたった提案型技術営業の必要性を再認識しました。

今後は、この研修情報を各支部技術委員を通じ組合員の皆様へ提供し、業務に反映していただきたいと考えております。



事故による保険金の支払いは、保険会社の資金ではなく、皆様方の掛金の中から支払われています。

経済委員会・研修報告

十一月十二日、倉田顧問・

林経済委員長始め十名が松下電工ショールーム(名古屋市)の見学を兼ね情報化推進事業の研修を実施しました。

講師として、松下電工インホメーションシステム(株)の市田技術課長にお願いし、「インターネット活用による情報革新」と題して、主にインターネットの知識・ノウハウ等について

勉強しました。

なお、各支部等においても、マルチメディアの研修会ができるよう、その推進マニュアルを本部事務局から提供しますので活用をお願いいたします。

今後は、組合インターネット活用第二ステップとして、本部と各支部とのアクセスを中心情報化事業を推進したいと考えております。

広報委員会・取材報告

十二月四日、倉田顧問・

村協広報委員長始め九名が松阪支部を訪問し、支部の活動等について取材を実施しました。

始めに青山松阪支部長のあいさつがあり、次いで福田広報委員(松阪支部)から支部の組織、各委員の活動、予・決算等について説

明を受けた。

また、その場をお借りし、併せて会報(正月号)の編集会議を実施した。

午後六時からは、支部厚生委員会による親睦ボーリング大会に参加し、これを取材した。

一、組織
(1) 松阪支部は、三重県南



編集会議

勢電設協同組合(松阪支部、大台支部で構成)にあり、松阪市南町に事務所を置いております。

(2) 現在、松阪支部一八名、大台支部二四名の会員で、工業組合、協力会の諸行事は、各支部ごとに運営されております。

(3) 協同組合は、理事長(支部長)以下理事九名、監事二名、ブロック長十三名(松阪十、大台三)の役員によって運営されております。

二、委員会

総務委員会、技術委員会、経済委員会、広報委員会、厚生委員会、特別委員会等で構成されておりそれぞれの委員会に各ブロックから選出された委員が所属し、任期は、二年としている。総代もこの方々から選出されている。

各委員会の活動は、概ね本部と同様の内容であるが、特別委員会については、次の活動を行っている。

「土法・業法の適正化調整推進」「業法の関係法規の調査研究」「金融事業」「電材資材の販売」

三、親睦ボーリング大会
松阪市サンパークに於いて、従業員・家族を含め総勢八十八名の参加者により和やかな雰囲気の中、親睦ボーリング大会が開催された。

近藤厚生委員長によりスムーズに進行し、二ゲーム、一時間三十分にあたる熱戦の結果、次の方が優勝されました。



親睦ボーリング大会

・女子優勝者

「仲電気 中井圭子さん」

(スコアー 二七六)

・男子優勝者

「(株)三協電工社

久野 繁さん」

(スコアー 三七七)





私の自己選択

上野支部(S27年生)

恒岡 治郎

謹んで新年のお慶び申しあげます。

本年はミレニアムを迎え、また四回目の辰年と自身身に、なにか好機を期待しています。しかし近年経済不況が長く続くなか、当工事業界も厳しい状況にあり、各会員様も地域社会発展の為、日々苦慮されていると思います。

人々の生活は驚くほど便利になりました。便利さを支える科学技術のほとんどは、二十世紀に飛躍的に進展した物理学の成果から派生していると思います。

その物理学も多様化し、

人間生活との絡みや全体像を見るのは難しくなっています。物質的には恵まれた現在ですが、人間として一番大切な道徳秩序が失われていると思います。この不況の中で自分自身を見失わず価値ある物を見つける事を念頭にもって、あらゆる機会を捉えて学び、自らを高めていく心構えを持たなければなりません。お客様への心にも残る。地域にも残る。仕事を増やし、訪れる人の心にも残る物を造り、日々の努力と内容の充実さをもって仕事をしなくてはなりません。自分の行動に責任をとり挑戦していきたいと思います。

今後とも、なお一層のご指導を賜りますようよろしくお願ひします。

辰年五回目を迎えて

松阪支部(S15年生)

熱田 忠

組合の皆様方、新年あけましておめでとうございます。

人生早や六十年を迎えました。私もふくめわたしたち同年代の方々は、辰年を迎えるにあたり記念に残る出来事がありました。二回目の辰年(昭和三十九年)は東京オリンピックが開催され日本国経済は高度成長期に入りました。四回目の辰年(六十三年)は一年を通しての昭和の最後の年となり経済もバブルの最高時でございました。そして今年五回目経済状況はご承知の如くバブル時代が終りこの二、三年不況の年が続いております。

このように見て来ますと私達の人生は少年時代は第二次大戦後を混乱と貧困で

過ぎ、青春期壮年期は平和と豊かな生活を享受しつつ現在に至っております。正に「光陰矢の如し」の感がございます。不況と言いましてもことし当たりは政府の経済政策が効果を出しはじめるかと思われまます。辰年は縁起に例えて「起つ年」とも言われます。今年には正に不況より「起つ年」になります様に。

私は今後の人生を過ごすにあたり松下電器を創業された松下幸之助さんの「青春とは心の若さである」と言っておられましたその気持ちで過ごします。

組合員の皆様方、今年は又西暦二〇〇〇年でもあります。皆様方記念ある年になされる様に望みます。

変心!!

伊勢支部(S39年生)

K

仏教の教えの一つに「無常」があります。これはまさしく「常にあらざる」つまり良い事も続かなければ、

悪い事も続かない。すべて万物は移り変わるという意味なのです。この世もまさしく「無常」そのもの、全てはとどまることなく移り変わっていくものなのです。ですから、これからの時代を生きる達人の心得としては「プラス思考で生きること」これしかないのではと思う昨今です。

物事がうまく運ばない時も、うまくいかない方がきつといいことに向うのだろうと考えるようにし、悪いことも続かないからきつといい事があるさと心のスイッチを切り替えて生きる。「今年はきつ」とい事があ「今年」と思っていると心の持ち様というものは不思議なもので、案外いい事が起こるものなのですよ。

新年に当たり、「プラス思考の生き方」への心のスイッチの切り替えをお薦めします。

あっ、そっか! 皆さんデ
ンキ屋さんなのですから、
(9面へつづく)

(8面よりつづく)

スイッチの切り替えは、お手のもの”でしたわ。

二千年を迎えて

鳥羽支部(S27年生)

山下 政由

二千年、一步が辰年!!新年を迎え、今年こそは、干支にちなんで経済が、上昇してくれると思う。

私も作文を書くのは中学校以来、何をどのように書いたらいいか頭の中が整理がつきません。

時代の流れで、施工方法も自分が施工して来た内容と少しずつ変わって来ている。今、皆が言うように情報社会の時代になった。

それも、大切かもしれない。

私も離島で電気工事を始めて、十七年になります。現場で仕事をしていても、「おじさん」とか「おばさん」が、呼びに来る。「ちょっと電気が点かないちよっと見て」、「仕方ないなあ」と思いつながらその家へ行って

修理してあげます。昼夜関係なく、都会の電気屋さんでは考えられない事でしょう。

私の場合はこれからも地域密着で小回り出来る電気屋、それが一番、そして安全に、一日、一日を大切に今年度は年男、増々頑張ります。

節目を迎えて

四日市支部(S15年生)

奥岡 辰男

西暦二〇〇〇年、五回目の年男、心身ともに大きな節目と重なり合った新年を迎える事ができました。

この世に生を受けて六十年、世に言われる還暦。精神的にも余裕が出てきたこの機に過ぎし日々を振り返ってみようかと。二十代は新生活スタート、二世誕生。

三十代は家族を守るべくガムシヤラに。四十代は今の電気工事業に携わる様になり、五十代は何とか皆様からの後からついて行ける様になったと自己満足いたしております。

今、思えば若さが先走り

赤面する様な事もあり、失敗もありましたが、その間に私には良き人との出逢いが

多々あり、暖かい手をさしのべて助けていただきました。又、心の拠り所となる人との悲しいわかれもありました。が、人と人とのつながりは素晴らしく本当に大切なものだと痛感いたしております。

今年辰年。

一人一人の繋がりが輪になり、龍が天に昇るが如く、我等が業界も不況を突き破り、さらなる未来へ飛躍する事を願って。本年もよろしくお願い致します。

生涯青春であるように

富田支部(S3年生)

増田 弥

私が、今年の年男である事は、自身全く気が付かず組合からの投稿依頼で初めて知った程であります。

ふり返れば、私が電気工事に携わってから五十三年の月日が過ぎましたが、戦

後間もなく裸の焼き銅線を垂木でトンボを作り引込線工事をした事等が思い出されます。

今日の電気工事では、全く想像し難く、技術の進歩も目ざましく、私の年令では理解するのが大変です。しかし、人間幾つになっても勉強です。精進を忘れない様にといいことで、新技術を学び取って、仕事と人生に活かしたいと思っております。

ISDNを始め弱電等の通信技術の習得にも不得意を克服して努力したいと思っております。私の後継者はおりますが、自分が生涯青年であるという気持ちを持って今年一年の抱負として電気・通信関係の仕事に従事させていただきます。

新時代を迎えて

桑名支部(S39年生)

水谷 昌司

二〇〇〇年、新年明けましておめでとございます。

二十世紀最後の今年辰年という事で、私は三十六歳を迎える事になりました。

さて、私は電気工事という仕事に携わるようになって十四年が経過しました。今振り返ると、バブル崩壊以後は大変厳しい経済状況が続き、我々の業界もまだまだ先行き不透明な時代が続くように思います。又、一方では急速に情報のデジタル化が進み、電子化された書類や図面の提出・電子メールでの交信など、パソコンを媒体としたネットワークが当たり前の時代になってきました。

この様な時代を生きてゆくには、我々若い世代の者が希望を持って積極的に行動を起こし又、めまぐるしく変化する様な環境に対し、いち早く情報を入手し順応できる柔軟性が必要であると思えます。そして、グローバルな視野と長期的な展望を持ち二十一世紀を迎えたいと思えます。

(10面へつづく)

(9面よりつづく)
 最後になりましたが、これからも皆様の御指導を賜りながら、電気工事業界の発展に少しでも寄与する事ができるような努力してきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

二千年への抱負
 亀山支部(S51年生)

松井 茂樹

新年、明けましておめでとうございます。電気工事士として、父とともに働き始めて三年がたちました。二千年という区切りの良い年に年男で迎えられるのも、何か言い表わすことのできない感情があります。私の今年の抱負として、いくつか、考えてみました。時代の大きな流れの中で自分を見失うことなく、信念を持って何事にも挑戦していこうと思っています。そして、昨今の多種多様のお客様の要望にも、満足いく仕事で応えていきたい

いと考えています。年々、配線技術が進歩していく中で、自分自身の技術の向上のためにも、色々な研修や講習会にも積極的に参加し、電気組合員の諸先輩方とも交流させていただきたいと思えます。

また、健康面にも、気を配り、事故や怪我のないように気をつけたいと思います。まだまだ、未熟な私です。まだまだ、未熟な私です。ので、本年もどうぞよろしくご指導をお願いいたします。



事務局職員紹介

志摩支部 松尾 真弓

この度、九月一日付で、志摩支部でお世話になる松尾です。何も分からないので、他の支部の方や組合員の方にも、迷惑をかけることもあるかもしれませんが、その都度、指導の方、よろしく願います。

▶ 会員異動のお知らせ ◀

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追加修正をお願いします。(事務局)

支部	種別	コード番号	事業所名	代表者	住所	電話番号	郵便番号	登録(届出)番号
松阪	新規加入	32180	㈱コーヨーデンキ	布引 洋	松阪市川井町846-16	0598-23-6779	515-0818	8-317
伊勢	"	33176	ツダアトミック㈱	津田 裕也	伊勢市大湊町1118-98	0596-36-2955	516-0001	届99-10
松阪	"	32181	小倉電気	小倉 忠浩	松阪市久保町1497-6	0598-29-3005	515-0044	9-99
志摩	"	33471	世和電気工事	尾崎 和男	志摩郡阿児町国府上野3698-22	05994-7-5123	517-0506	9-87
四日市	"	34189	日栄住宅設備	石垣 征也	四日市市市場町571-1	0593-39-0046	512-1302	11-115
久居	退会	31351	㈱久居電設	吉田 秋男	久居市北口町2661	059-255-3257	514-1105	届85-4
伊勢	"	33035	岡沢電機	岡沢 信郎	伊勢市宮後1丁目8-25	0596-23-2255	516-0072	8-161
四日市	"	34064	㈱伊藤デンキ商会	伊藤 昌治	四日市市諏訪栄町20-5	0593-52-4086	510-0086	8-192
四日市	"	34160	山田電工	平尾 良照	四日市市山田町3636	0593-28-2633	512-1111	11-20
四日市	"	34148	吉住電工㈱	吉住 正昭	四日市市新正1-11-17	0593-53-6516	510-0064	届52-18
桑名	"	34409	三栄電機工事㈱	伊藤 忠夫	桑名市吉津屋町25	0594-22-0672	511-0087	届51-58
鈴鹿	"	34750	石井電工	石井 一治	鈴鹿市住吉4-4-15	0593-70-5036	513-0826	6-151
伊勢	承継加入	33113	阿曾電機商会	森 源久	度会郡南島町阿曾浦96	0596-72-1052	516-1305	8-354
志摩	"	33402	上田電機商会	上田 至	志摩郡阿児町鶴方1241-2	05994-5-2969	517-0501	8-135
名張	変更	31590	㈱トーエネック所名張営業	錦 馨	名張市蔵持町原出522-15	0595-63-1208	518-0752	届 大臣 4665
桑名	"	34401	東新電機工業㈱	黒田 幹司	桑名市末広町38-2	0594-22-0585	511-0077	届460055
四日市	"	34185	東電工業㈱	栗田 雅雄	四日市市新正4-14-18	0593-55-9606	510-0064	届99-12
鈴鹿	"	34290	㈱トーエネック所鈴鹿営業	服部 則男	鈴鹿市福生町8278-5	0593-70-5300	510-0201	届 大臣 4665